

経営比較分析表（令和6年度決算）

岡山県倉敷市 倉敷市立市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	自治体職員 民間企業出身 その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	22	対象	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
473,670	14,117	非該当	非該当	10 : 1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
198	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	198
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
172	-	172

当該病院値（当該値）	類似病院平均値（平均値）
■	●
【】 令和6年度全国平均	

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の病院・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

採算性を求めることが困難である救急医療、周産期医療、小児医療を提供し、市民の健康保持や福祉の増進を図るとともに、予防医療の充実や地域の医療機関や施設と連携し、地域包括ケアを推進するなど、地域の中核病院として地域医療を確保します。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、補助金の減少などにより医業外収益が減少したため、前年度より低下しています。一方、医業収支比率は、入院患者数の増加に伴い入院収益が増加したため、前年度から改善しています。

また、患者1人1日当たり収益は、入院、外来ともに前年度を下回りました。入院については、類似病院の平均値を上回ったものの、外来は下回っているため、医療の質向上等により1人当たりの収益を高める必要があります。

病床利用率については、前年度から改善したものの、類似病院の平均値はわずかに下回りました。

2. 老朽化の状況について

病院を建て替え、平成30年4月に新病院を開院したことから、有形固定資産減価償却率は35.5%と類似病院の平均値を下回っています。

また、令和5年度に更新した電子カルテシステムなどの病院情報システムやCT、MRIの減価償却を開始したため、器械備品減価償却率は上昇していますが、類似病院の平均値は下回っています。

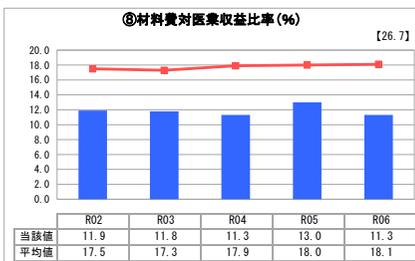
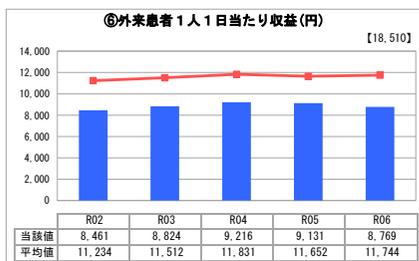
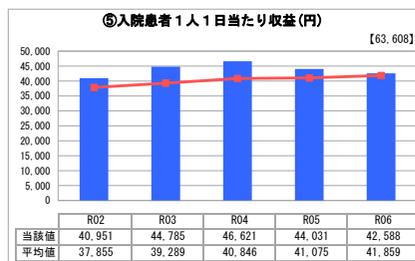
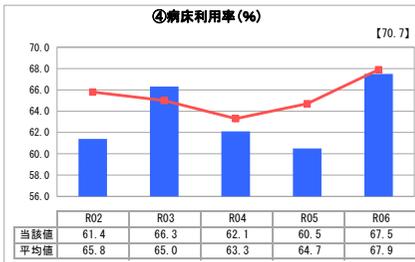
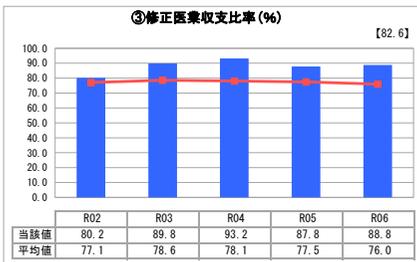
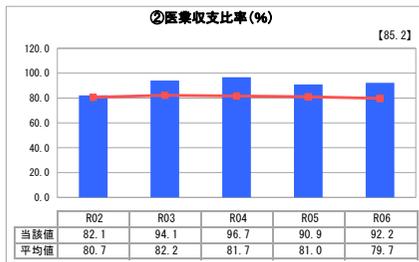
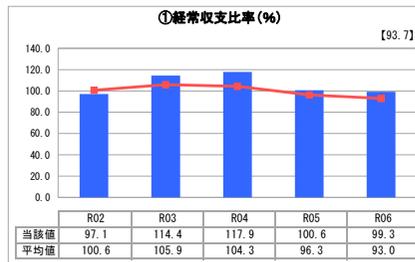
全体総括

経常収支比率、医業収支比率ともに類似病院の平均値を上回っていますが、経常収支比率は前年度から低下し99.3%となりました。今後も職員給与や減価償却費の計上、新病院の建設に伴う企業債の償還等により厳しい収支状況が続くものと思われます。

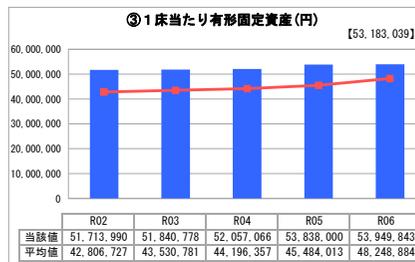
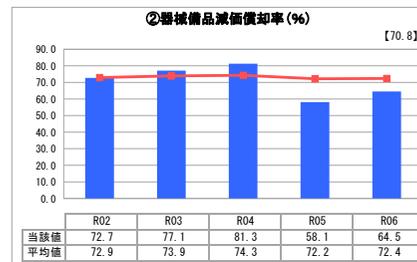
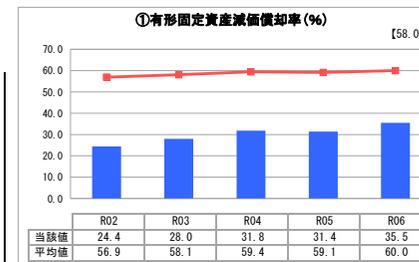
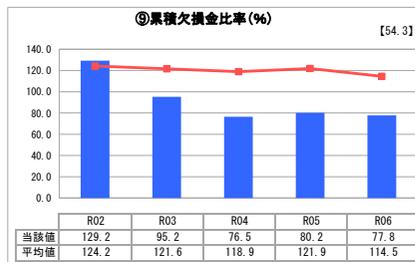
このため、引き続き支出削減による経営の効率化に取り組むとともに、救急搬送受け入れ体制の充実を図ること、入退院管理の適正化に努めること、並びに地域の医療機関との連携を強化し紹介患者を増加させることなど、病床利用率の向上により収入確保に努めてまいります。

また、施設基準の積極的な取得やDPCコーディングの適正化による診療単価の向上に努め、収益の拡大を図るなど、経営改善に向けた取組を行ってまいります。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。